

Q. どうして協力隊に参加しようと思ったのですか？

昔から途上国に興味がありました。その興味から、大学で途上国支援に関係する開発学という分野を専攻しました。

その勉強の中で、実際にベトナムとカンボジアに短期のボランティアに行く機会があり、初めて途上国の現状を目にしました。

しかし短期ではわからないことも多く、いつか長期で途上国に行ってみたいと思うようになりました。

そのような中で数年後、偶然、自分の仕事内容を活かせる要請を見つけた為、協力隊に参加しようと決めました。



氏名：小松原 佳歩
職種：観光
派遣国：ルワンダ
出身地：島田市



Q.任地ではどのような活動を されていたのですか？

首都から車で2時間ほどの場所にある、
職業訓練学校のホテルコースで活動をしていました。
同僚と共に、主に接客に関する授業を行いました。
また、実習の機会が少ないことが課題であった為、
近隣のホテルに協力してもらい、短期の仕事体験や
インターンシップを計画実施しました。
実際のホテルを見たことがない生徒も多い為、
首都の高級ホテルへの見学ツアーも行いました。



実際のホテルでの仕事体験。
フロント、キッチン、清掃な
ど、様々な部門を経験します。

Q.協力隊に参加して、 どのような変化がありましたか？

自分にとって、アフリカがとても近い存在になりました。

行く前は、全く別世界に行くような気分でしたが、現地では、人々が普通の暮らしを営んでいます。

もちろん、日本に比べたら不便なことが多くありますが、少しずつその環境が自分にとっても当たり前になっていきました。

今では、第二の故郷のような感覚です。

また、異文化を理解し尊重する力も身に付いたと感じます。

現地語に苦労したり、考え方が合わなかったりと大変なこともありました。

しかし、それを超えて、特に配属先の学校の方々とは、帰国後も連絡を取り合うほど仲良くなることができました。

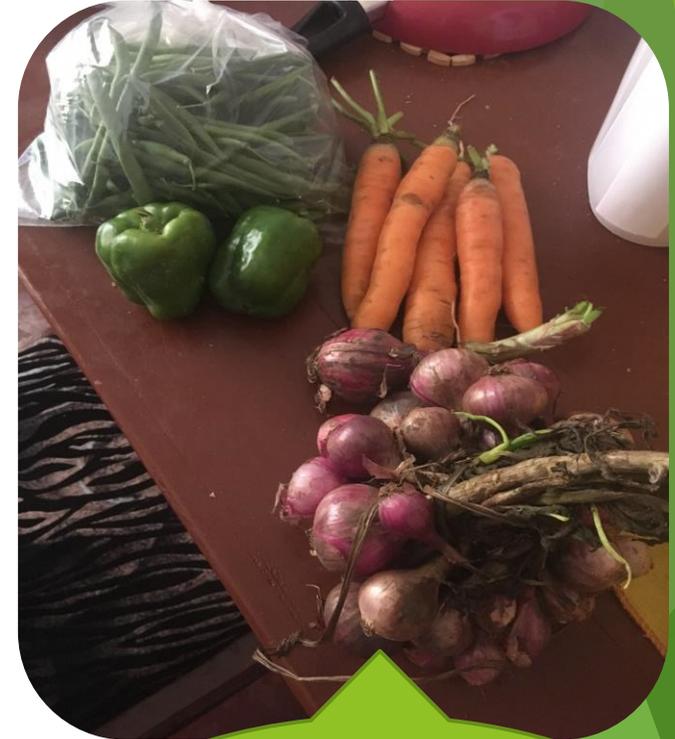


Q.任地ではどのようなものを食べていましたか？



アマンダージと呼ばれるドーナツです。軽食としてよく食べてました。

レストランのビュッフェです。一度しか盛ることができないので、みんな大盛です。ポテト、豆、パスタなど炭水化物が多いです。



家の近くの市場では野菜を購入することができたので、自炊もよくしていました！